

「Rapid growth stomach cancer (RAGSC)の臨床的・内視鏡的特徴の検討」へのご協力のお願い

代表者 所属：津山中央病院 職名：副院長 氏名：竹中 龍太
共同担当者 所属：津山中央病院 内科 職名：医長 氏名：里見 拓也

1. 目的

胃癌はわが国のがん死亡の上位に位置し、1990年代まではがん部位別死因のトップであった。胃癌検診の導入や内視鏡検査の診断技術の向上により早期発見が可能となり、国立がん研究センターのデータでは、部位別死因は2020年の段階で男性は3位（2万7771人）、女性は5位（1万4548人）に下がったものの、高齢社会を反映し、死亡数や罹患数はいまだ多いのが現状である。そのような背景から、これまで、40歳以上を対象に、年1回の胃エックス線検査による胃癌検診が行われてきた。しかしながら、2016年に厚生労働省が定めるがん検診の指針が一部改正され、検診対象は50歳以上となり、胃内視鏡検診では50歳以上が望ましく、検診間隔は2年から3年とすることが可能と明記されている。

多くの胃癌は1～2年では形態変化を生じないが（Haruma K, et al. *Gastrointest Radiol* 1991;16:289-291、Iida T, et al. *Geriatr Gerontol Int* 2018;18:997-1002）、中に短期間で急速に増大する症例も存在しており（Haruma K, et al. *Am J Gastroenterol* 1992;87:31-36）、胃内視鏡検診の間隔が2～3年となったことから、急速に増大する症例の臨床病理学的特徴を明らかにする必要があると考えた。これまでに発育速度の速い胃癌について、背景胃粘膜を内視鏡所見で検討した報告としては、Miuraらは胃黄色腫の存在が、進行の早い胃癌の症例で有意に多い所見であることを報告している（Miura K, et al. *J Clin Med*. 2021; 10: 5704）が、不明の点も多い。

1～3年の間に新規で出現した胃癌や急成長し、最終的にSM2以深で外科治療を要した胃癌をRAGSC（Rapid growth stomach cancer）と名付け、SM1（がんの浸潤が粘膜筋板より500μm以浅）以浅で内視鏡的治療が可能であった症例（非RAGSC）と比較し、RAGSCをもつ患者の臨床的特徴、特に初診時の背景粘膜の内視鏡所見と腫瘍の病理学的特徴を比較検討し、さらに同腫瘍の増殖能を解明することを目的とした。さらに多施設共同研究を行い、胃癌発生リスクと増殖態度に応じた適切な上部消化管内視鏡検査間隔を提唱することを目標とする。

2. 対象と方法

2004年4月1日から2024年12月31日までに、当該医療施設で新規に胃癌と診断され、診断日から過去3年間のうちに上部消化管内視鏡検査を施行した患者

①2004年4月1日から2024年12月31日までに胃癌と診断された患者を内視鏡データベ

ースで遡り、診断日から過去 3 年間までの期間に上部消化管内視鏡検査を施行されている患者を抽出する。

②診断日より過去の上部消化管内視鏡検査で病変を指摘されていない症例、または軽微な変化は認められるが癌と診断されていない症例を対象とする。

③②のうち、粘膜下層 SM2（がんの浸潤が粘膜筋板より 500 μm 以深）以深に浸潤し外科的治療が行われた症例と、内視鏡的治療が可能であった症例とを比較し、それぞれの症例の臨床的特徴（年齢、性別、BMI、飲酒・喫煙歴、症状、基礎疾患・既往歴、処方薬、家族歴）、内視鏡的特徴（病変部位、型、深達度・進行度、H. pylori 感染の有無と除菌歴、胃炎の京都分類に基づいた内視鏡所見、食道胃接合部の内視鏡所見、病理組織型）、使用スコープ、施行医情報（経験年数など）を比較検討する。

④各病理組織検体の免疫染色（Ki67 染色により Ki67 index を算出し増殖能の評価）を行い、RAGSC の病理組織学的特徴を見だし病態を解明する。

⑤臨床的・内視鏡的・病理学的特徴に応じた検診間隔を検討する。

3. 研究期間

院を含む、川崎医科大学総合医療センター・川崎医科大学附属病院の共同研究機関倫理委員会承認日から 2026 年 12 月 31 日

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 岡 岳文

連絡先：電話 0868-21-8111（担当：内科 副院長 竹中 龍太）